

まちづくり

Partnership 協働

～季節の花々が楽しめる地域づくり～

三十三観音史跡公園環境美化活動

6月14日、第二区自治会（大野康統会長）主催の環境美化活動が、三十三観音史跡公園及び小池周囲で行われました。同自治会は、「地域の宝を未来の子どもたちへ」を理念に、



平成15年度より三十三観音史跡公園の草刈りや風倒木整理、植樹、遊歩道整備などの環境美化活動を実施しています。今回は、第二区自治会会長と地域支援者、寿光園職員など45人が参加し、三十三観音史跡公園と小池周囲の草刈りに汗を流しました。

また、三十三観音史跡公園には、支援者から寄贈されたヤマボウシが植樹され、菜の花とからし菜の種まきが隈戸川の川沿いで行われました。



～地域の絆に感謝～

駅構内の環境美化活動

6月17日、町商工会青年部（栗崎信悟部長）がJR矢吹駅構内の清掃活動を実施し、部員14人が参加しました。

この活動は、6月10日の「商工会の日」に併せ、全国の商工会青年部が一斉に取り組む奉仕活動として実施されたものです。東日本大震災をはじめ各地で発生した災害における復興支援活動等で、改めて確認された青年部及び地域の「絆」に感謝するとともに、今後もさらに強化していくこと等を目的としています。

また、矢吹駅を多くの皆さんに利用してもらい商店街の賑わいを図ること、家族を大切に思うきっかけをつくることを目的として、7月2日には同青年部による「家族にがえ展」の展示作業が行われました。



「家族にがえ展」開催中！

町内4小学校の1、2年生が描いた「家族にがえ」約300点が展示されています。ぜひ、ご覧ください。

- 【開催期間】 7月3日～9月上旬
- 【展示場所】 JR矢吹駅通路
- 【主催】 矢吹町商工会青年部

園 矢吹町商工会 ☎(42) 4176



私のひと言



矢吹町長
野崎吉郎

「豊かな夏を待ちわびて」

ある日のお昼時。雨の合間を縫って、この時間いつもはゆつくりと家で過ごすことが多い母が、珍しく外の炊事場で手拭いを被り、忙しげに体を動かしている。何の作業かと尋ねると「梅漬」の準備をしているとの返事。今年の我家の梅の古木は不作だっただけに、チョット怪訝な表情を見せる私に、「いつも漬けているから、今年も漬ければいい」と、独り言のように呟く母。昔から目にするいつもの風景。出来の良し悪しはあっても、我家の慣れ親しんだ味。他所から頂いた梅と、少ないながらも古木から熟れ落ち、拾い集めた梅を丁寧に水洗いする母。梅雨が明けた頃を見計ら

格的に漬け込む。そういえば、知人が毎年送ってくれる「高田梅漬」も、今年是不作で送れない旨を知らせるハガキが届いていた事を思い出す。梅の不作も、今年の「空梅雨」と大きな関わりがあるのだろうと考えていた矢先、ある新聞を手にし、目を通した。次のように書かれていた。「今夏は、久々に冷夏と暖冬をもたらすエルニーニョ現象が強まり、梅雨明けが遅れて天候が不順になる」とのこと。気象庁は、最新の1ヶ月や3ヶ月までの季節予報で、この先の見通しをこう示した。実際、停滞する梅雨前線によって各地で豪雨を観測している。報道によれば、「エルニーニョ」はスペイン語で「男の子」を、また、「神の子」イエス・キリストを意味するそう。南米ペルー沖の海面水温が普段の年より高くなるため、雨の降る回数、量が増えて農地が潤う。つまり「神の恵み」を受けたのが由来とされたのである。因みに、昨年は「ラニーニャ（女の子）」

の傾向を受けていたことが報告されている。今夏のように、ひとたびエルニーニョが発生すると、水温が高めの熱帯太平洋東部で上昇気流が強まり、雲が発達。上昇した空気は北へ運ばれ、下降気流となって高気圧を強める。高・低気圧の動きを左右する上空の偏西風の流れる位置も変わる。今夏の偏西風は例年に比べ、緯度が低い位置に、しかも蛇行傾向にあり、日本の気象は大きな影響を受けるといえる。実際、連日のように九州・四国地方を中心に、全国各地で停滞する梅雨前線によって、度重なる豪雨も観測されていることはご案内の通り。

そんな中であつて心配は当矢吹町だ。雨が降らないのだ。矢吹町が位置する東北南部の梅雨入りは、平年より14日遅い6月26日。1951年の統計開始以来、67年と並び48年ぶりに最も遅い梅雨入りとなったばかりか、梅雨入り後も雨が降らない。降ってもごく短く、また、ごく少量。梅雨入り前の6月には、全くとい

つていいほど雨が降らなかつただけに、今の小雨の状況は先行き心配だ。影響は既に深刻だ。例えば、渴ききつた水田に水が充分に回らず、田植えが6月中旬まで終わらない地域が発生。今後の生育が心配であり、何より矢吹の水ガメの羽鳥ダムが大幅な水位の低下をきたし、貯水率が現時点で46%となっていることだ。例年60%の維持を目安にして現在の状況が続けば、8月一杯の通水が叶わず、稲の収量に深刻なダメージを与えかねない。窮余の策として、一昨年に続き定期断水を実施した。異常気象による「ゲリラ豪雨」は願い下げだが、例年のように、豊かな稔りの秋を迎えるためにも、今後恵みの雨が降ってくれることを願うばかりだ。しかし、楽観は出来そうにない。今年は、梅雨が長引き、恵みの雨とばかりはいかないようだ。今年は、エルニーニョの傾向が明確で、熱帯太平洋東部の海面水温がめつたに

町内では毎年、地域の皆さんをはじめ、各企業・団体の皆さんによる花いっぱい
のまちづくりが行われています。
多くの皆さんの手により、道路沿いが
マリーゴールドやサルビア、ペチュニア
などの美しい花で彩られました。

花
い
っ
ぱ
い
の
ま
ち
づ
く
り



6月13日 長峰老人クラブ



6月14日 柿之内行政区



6月26日 (株)平成工業



6月7日 田内行政区



6月7日 文京子ども育成会



6月10日 神田行政区・神田老人クラブ



6月10日 中畑小学校

～7月は河川愛護月間～

隈戸川河川清掃作業

地域づくり民間団体こうすっぺ西側イメージアップ作戦
(富永創造会長)と、町建設協力会(小室敏会長)合同によ
る隈戸川河川清掃作業が、7月1日に行われました。

9年目となる今年は、同協力会から19社が参加。約40人の
参加者たちは、雨にも負けず、館橋付近から雷神橋までの6
工区に分かれて作業を開始し、隈戸川河川敷や道路沿い、ア
ジサイ広場などの雑草を刈り取るとともに、ごみ拾い作業を
実施しました。



～地域みんなで河川をきれいに～

第35回三城目地区河川クリーンアップ作戦

7月の河川愛護月間に伴い「第35回三城目地区河川クリーンアップ
作戦」が7月5日、阿武隈川と阿由里川周辺で実施されました。

主催は、三城目総区長・横
石区長・上町区長・中町区
長・下町区長・根岸区長・西
原区長。

早朝から三城目地区の皆
さん約270人が参加し、堤防の
除草作業をはじめ、空き缶や
ペットボトルなどのごみ拾い作業が行われました。



～地域で楽しく交流～

親子ふれあい交流会&寺子屋音楽会

7月5日、「親子ふれあい交流会」が中畑公民館で、「第15回寺子屋
音楽会」が澄江寺で開催されました。

このイベントは、中畑小学校父母と教師の会(斎藤常和会長)、青
少年健全育成推進会議中畑地区推進協議会(土門巧会長)、寺子屋音
楽会実行委員会(蛭田吉男委員長)が主体となり、地域の各団体と協
力して企画運営された
ものです。

中畑公民館には駄菓
子やかき氷の出店が並
び、炊き出しや座禅会、移動図書館「よむよむ」コーナー、おはな
し会などを実施。澄江寺では、光南高校テクノアートシンセサイザ
一部が1時間半にわたり、10曲以上を演奏。子どもたちや住民の皆
さんなど約300人が、楽しいひと時を過ごしました。



文
芸

まつかさ川柳会

掛け声の威勢に一つ無駄を
買い 斎藤 幸子
母の日に亡母を偲んでいる
ワイン 久保木 聖
点滅で青信号が拗ねている
駒木 一枝
ほど遠い理想を追ってまだ
燃える 大川原和子
休耕田もう富士山は映らな
い 藤田 忠山
根が生えて汚染土の森動じ
ない 斎藤志ろう
良い眠り叩いた布団からも
らう 芳賀カツエ
貧しくも心に花のある暮ら
し 富永 政巳
丁度よい所に来たと栓を抜
く 下重 秀石